

テーマ

「失敗しない収蔵品管理システム導入」のコツ。  
 それをご存知なのは、やはり館の皆様です。

～「導入館インタビュー」ここまでのまとめ～

収蔵品管理システム導入を体験された、ご担当者の皆様の声。  
 それは、これから導入をお考えの館にとって、何よりの参考書となるはずです。

早

いもので、「I.B.MUSEUM 導入館インタビュー」が始まってから、もう1年半近くが経過。その間、ご協力いただいた館は、30を超えました。まずは、快く取材に応じてくださった皆様方に、慎んでお礼を申し上げます。  
 さて、このインタビュー企画は、収蔵品管理システムの導入・運営について、実際に接している現場の方々との体験談を通じて、その実像を浮き彫りにしようという目的でスタートしました。うまくいった点、逆に苦しめた点

などを率直に伺い、「現場の視点」を広くお届けしていこうという主旨は、お陰様で多くの方々にご支持いただき、一冊の小冊子にまとめるまでになりました。  
 これらの取材を通して痛感するのは、「館にはそれぞれ独特の事情がある一方で、同じような悩みを抱えておられるケースが少なくない」ということです。もちろん、システム開発において克服すべき課題は運営状況によって大きく左右されますが、基本的な問題は多くの館が「共有する」状態に陥っているのです。

こうしたミュージアムの現状打破に微力ながらお役に立つことを目指している「導入館インタビュー」。冊子化をひとつの区切りとし、今回、代表的な声をまとめてみましたので、弊社の視点や対応とともにご紹介いたします。  
 館同士のコミュニケーションにおける小さな掛け橋となりつつ、いただいたお声をシステム開発現場にフィードバックし、より良い提案につなげていく。弊社では、何よりも「導入現場」の声を重視し、今後も蓄積に努めて参ります。

収蔵品管理システム導入館に訊く よりよいシステムに仕上げるためのコツ

システム開発各段階における代表的なポイント  
 「導入館インタビュー」記事より抜粋・要約

早稲田システム開発の視点  
 「導入館インタビュー」取材記者より

仕様決定

代表的な経験談 その1

仕様決めは、できれば柔軟な姿勢で。

館の声

「資料番号の採番方法ひとつとっても、今のベストと後のベストでは違うことがある。スタートの時から完璧を求めない、ことが大切」  
 「単純に組み立てるという考え方を基本に、出発点はできるだけシンプルにしておくことが大事。」

開発段階

代表的な経験談 その2

綿密に打ち合わせてしっかり準備。

館の声

「館運営のプロと、コンピュータのプロ、使う言語が違うからか、開発上で認識にズレが生じることもあるので、綿密な打ち合わせを」  
 「システム会社に「丸投げ」しないこと。館も情報システムを知って、打ち合わせを重ねたほうがいい。」

導入後

代表的な経験談 その3

大事なのは導入後。特にデータ入力。

館の声

「職員に使ってもらうまでは、大変キツイ仕事になる。特にデータ入力は、今やらないと後でもっと困ることになるので、頑張るしかない」  
 「導入で大変なのは、入力業務。自館の職員でまかなうというのであれば、1-2年は覚悟するべき。」

事前の仕様決定は最重要事項のひとつですが、場合によっては、「決めすぎ」が問題になることもあります。と言うのは、導入後、館運営環境に変化が生じた場合、軌道修正が利かなくなってしまうから。もちろん、最も重要なのは、館の運営あるいは収蔵品の性格やビジョンを吟味し、中長期的な展望を立てることです。そこで弊社では、I.B.MUSEUM 2005に「セルフカスタマイズ機能」を導入。一定範囲であれば、導入後に仕様を調整できる柔軟性を持たせることで、システム硬直化の防止にお役立ていただいております。

多くの館にアドバイスをいただく中で目立ったのが、発注側と受注側の「意思疎通の重要性」でした。この点は、弊社も長く課題としてきたこともあり、こうしたお声を参考に「オープンプロセス、サービス」を開始いたしました。開発過程をリアルタイムにご覧いただけるこの取り組みは、館のご担当と弊社SEが開発途中のシステムをもとにコミュニケーションできる点で、ご好評をいただいております。

「データが整ってしまえば、あとは良くなるばかりなんだけど」……こちらから、非常に多くの館で聞かれたお悩みでした。データが入っていないければ、どんなに良いシステムも意味がない。実は、こうした課題は、「導入館インタビュー」企画の実施前から、頻りに耳にしていた。I.B.MUSEUM 2005に採用したさまざまな「入力支援機能」は、こうした大変な入力作業を少しでも軽減しようという姿勢から生まれたもの。とは言え、入力は実務が勝負ですので、準備はどうぞお早めに。

各館の肉声によるアドバイス満載の「導入館インタビュー」は、Webサイトのほか、冊子でもお読みいただけます。  
 ご興味がおありの方は、ぜひご請求ください。